かがやきながら

夏季号
NPO法人ももの会
通信 第62号
（2017年8月1日発行）

福田恭子さんへのオマージュ

NPO 法人ももの会 理事長 大井妙子

福田恭子さんはいつもは口数少ない方だが、少しお酒が入って気分が乗るとよく宇宙について話した。宇宙は無数にあって五次元や六次元の宇宙がある。その宇宙には太陽よりも数倍大きな太陽があること。地球の誕生は奇跡的だが決して偶然の産物ではなく生まれるべくして生まれたのだ。人の死は宇宙から去っても別の宇宙で別のものになって存在しているのだ、等々話は続いた。私にはよく理解出来ない宇宙の不思議な話だったが、彼女の熱心な話しぶりには妙な説得力があって好きだった。

彼女がこの春去って以来、彼女と切実な関係であったこの 20 年間のことが思い出され、残った者の常として悔やまれることも多いが、彼女の宇宙の話やその時の彼女の輝いた表情を思い出すと悲しみから少し救われる。

NPO 法人を設立し、桃三ふれあいの家の運営は難渋することも容易でない時もしばしばだったが、そんな時彼女はいつも「地球は生まれるべくして生まれ、私たちも出会うべくして出会い、私たちの仕事も与えられるべくして与えられたのよ。だから頑張ろうよ」というようなことを話す。私はこんな時になぜ地球なのよ、話が飛躍しすぎると反発しながらも、どこか納得して気持ちが切り替わり、いつの間にか 20 年が過ぎた。

彼女はやるべきことを淡々とこなし、誰にでも自然体で接し、飾らぬ人だった。その善なる人柄を慕いつつ、３月の告別式も４月のお別れ会も彼女を慕う人で溢れた。福田恭子さんは妖精となって遥かなる宇宙からこの地球を見守ってくれていると信じています。

福田恭子さん

1998 年より「桃三ふれあいの家」の設立と運営に関わる。2010 年、「西荻・まちふれあいかがやき亭」の運営の中心となる。その間５年間の闘病を経て 2017 年３月 11 日逝去する。

桃三ふれあいの家 新しいプログラム

■ ゴスペルコンサート

5月20日（土）

夏の気配が濃くなって来た去る５月の土曜日、ふれあいの家の職員が所属し大泉学園で活動している講師の桝口玲子先生率いるゴスペルグループsoulman&soulsistersが午後のプログラムに参加して下さいました。

余り馴染みの無いゴスペル。歌も英語でしたが、迫力のある歌声と４声からなるハーモニーに利用者さんから大きな拍手と声援を頂き、感動で泣いているクアイア（聖歌隊）がいるほどで、「こんなに素晴らしい場所と利用者さんの前で、歌わせて頂き幸せ！」と話していらっしゃいました。（介護職員 笹沼）

■ 三味線コンサート

5月23日（火）

明るい陽射しの午後、三味線秀士の会の演奏会がありました。

曲目は、「青い山脈」「ドレミの歌」「松ノ木小唄」等バラエティ豊か。曲にあわせて共に歌いました。新しいプログラムということで、互いに少し神妙な面持ちで始まった演奏会でしたが、利用者さんのリクエストにも答えて下さり、プログラムの最後には拍手喝采でした。（介護職員 今西）

ボランティア交流会

6月25日（日）

毎年恒例「NPO法人 ももの会」主催の「ボランティア交流会」を桃三ふれあいの家にて開催しました。
今年は「タップと歌おう」で懐かしい歌に合わせて、タップダンスをお楽しみ頂きました。
その後の交流会では、調理職員手作りの軽食を召し上がって頂きながら、
あちらこちらで和やかな交流が繰り広げられていました。

ご挨拶は
織田監事です。

ボランティア代表の
ご挨拶は絵手紙の
長島さんです。

私たち、
仲良し!!!

桃井第三小学校との交流

■ 対面式

4月19日（水）

ふれあいの家から体育館までの往復を６年生がエスコートしてくれました。お年寄りに自然と歩調を合わせたり、一生懸命車椅子を押したりする姿に心がほっこり。最高齢103歳の三村さんや桃三小卒業生の市川さんのスピーチを生き生きとした表情で聞く子ども達が印象的でした。

ふれあいの家に帰ってからも子ども達の歌声のすばらしさやお花のアーチなど、対面式の話題で大盛り上がり。今年度もたくさんの交流をして繋がりを深めていきたいですね！（介護主任 金澤）

■ 3年生との交流会

4月26日（水）
～28日（金）

交流会は教科書「きつつきの商売」の音読です。三角帽子に役を記入したり、登場人物ごとに分かれて各クラス並んだりと工夫がありました。なりきっている野ねずみ・気持ちを声に込めた野うさぎの登場で場面を感じ聴き入りました。終わると緊張が解けほっとした笑顔に拍手。昔と今の教科書を手に取り比べ、カラー刷りに「漫画みたい」とびっくりしていました。（介護職員 岡田）

公園散策

5月初旬

桃三ふれあいの家では、天気の良い日には近くの公園やお寺などに散策に行きます。
様々なお花を眺めたり、水鳥を眺めたり・・・。目の保養になります。

花より、
きれいな
私たち！

観泉寺にて！
心静かに。

善福寺公園にて。
ちょっと、休憩！

源氏物語を楽しむ会（第２回）

5月3日（水・祝）

　かがやき亭の新しいプログラムの一つとして４月から登場しました「源氏物語を楽しむ会」です。２回目の今日は 12 名もの参加者を迎え、和気あいあいと楽しそうでした。

　講師の藤井悦子先生は穏やかな語り口でとてもわかりやすくお話をしてくださいますので、古典だからと構えずに楽しんで聞くことができました。（ももの会理事 宮）

参加者の声

　この日は、光源氏に愛された女たちの中の「夕顔」のお話で、光源氏が夕顔に心寄せる場面を先生が易しく解説してくださりました。遥か昔の学生に戻った気分で、その場面を頭に描きながらお話に耳を傾けました。人の出会いは、昔も今も同じですね。（ももの会理事 市川）

南相馬支援チャリティーコンサート

1月29日（日）

　暑い７月の日曜日、かがやき亭にて第 10 回「南相馬支援チャリティーコンサートを開催しました。今回は吉岡しげ美さんのピアノ弾き語りと東京新聞記者の片山夏子さんのお話でした。

　吉岡さんのコンサートは、与謝野晶子や金子みすゞ、茨木のり子などの詩にメロディーをつけ、ピアノを弾きながら語るように歌うものでした。有名な詩なので、それぞれが想いを持って聞いていて違和感を感じることもあるかと思ったのですが、メロディーが美しく詩の価値を損なうことはなく、むしろ、高めている感じさえしました。最後の与謝野晶子の「君死にたもうことなかれ」が終わる時には涙ぐんでいる方もいらっしゃいました。特別ゲストのジャ・シュウイさんの心に染み入る二胡の演奏も素敵でした。

　片山さんのお話は、マスコミではほとんど取り上げることのない原発の廃炉作業を担っている作業員の方々のお話でした。彼女は作業員の方一人一人にインタビューをし、作業の真実と彼らの思いを記事にして、東京新聞に「ふくしま作業員日誌」を連載しています。「人手が足りないからとかき集められ、被ばく線量が一定基準になると解雇される―結局、使い捨て」「被ばく線量を上げないために線量計のスイッチを切る」「親の事を考えるとそろそろ結婚も…と考えるが、被ばくの事を話すとみんな逃げる」などなど初めて聞くーというか今まで聞こうとしていなかった真実がたくさんありました。

　この会はお客様が４～５０人の小さな会ですが、少しずつでも周りの方々に忘れてはいけない事実や知られていない真実をお伝えできれば…と思っております。

（チャリティーコンサート実行委員 ももの会理事 宮）

かがやき亭からのお知らせ

お待たせしました！ かがやき亭のお食事が再開します ～かがやき亭 WITH 佐藤家の食卓～

　今年の２月より一時休止していたかがやき亭のお食事を新しいスタイルで再開いたします。

　「佐藤家の食卓」は、西荻窪駅の西口（西友の西側出口より徒歩１分）で、昼は身体にやさしい和定食と喫茶、夜はおいしいおつまみやお食事とお酒を提供していらっしゃいました。店長の佐藤さんは、長年お母様が経営されていた喫茶店を任された時に、西友でお惣菜を買っていらっしゃるお年寄りに温かい、家庭的なお食事を食べさせてあげたいという思いから「佐藤家の食卓」を始めたそうです。

　このたび、御縁があって、かがやき亭のお食事部門を担当してくださることになりました。

「子どもからお年寄りまで安心して食べられる家庭的なお食事を通しての居場所づくり」

というかがやき亭の目的を共有し、今まで以上に「おいしい！たのしい！あんしん！」なかがやき亭を目指して力を合わせて頑張っていこうと考えています。

　今まで続けていた月曜日～金曜日の「生きがい活動」は継続します。（時間が少し変更になります。14 時～ 17 時です。）どうぞ、引き続き、いらしてください。詳しくはお問い合わせください。

　また、オープニングを記念して、６月27日と29日にコンサートを開催いたしました。お食事を召し上がって頂きながら、投げ銭形式のライブコンサートでした。

　何かに導かれたかの様な不思議なご縁で「かがやき亭」さんにお世話になる事になりました。12 年営んでおりました店が火災の被害に遭い途方に暮れていた所にこの様な舞台を提供して頂いたももの会の皆様に感謝申し上げます。

　佐藤家の食卓では季節の素材を和風に仕上げ定食という形で楽しんでいただけます。

　今までのかがやき亭さん同様地域に根ざし愛される店づくりに努めてまいりますのでよろしくお願い致します。（佐藤芳男）

NPO法人 ももの会

2016 年度にご芳志をいただいた方々のお名前です。（順不同、敬称は略させていただきました）

岩村秀子　市川暢子　市川美樹　海老名剛　稲葉明彦　小田喜代子　稲垣みち　市川英子　市川八重子　市川敏則　市川佳織　市川敏喜　牛久瑤子　小笠原初江　小笠原康裕　青木ミツ　大井妙子　織田宏子　岡本波津子　石川武子　青津努　青木勝　青木美智子　井上富江　渥美登美枝　榎本紘一　遠藤八重子　飯山雄一　岡田静　落合雅子　太田裕子　赤塚えみ子　榎本正廣　小原左智子　大間知キヌ　植田周子　岩井綾子　大村幸　加藤昌明　小日向テイ子　黒永恵美子　近藤昭子　小松淑子　駒田喜久子　小菅久子　児玉希代子　岸茂子　小林光寿　金子武二　神崎ひさ　近藤玲子　加藤秀樹　熊倉秀子　込谷昭子　関口記代子　鈴木兵部　鈴木兵庫　菅井房子　塩澤幸子　笹村あけみ　杉浦加代子　関口啓子　斉藤正明　島田恵美子　鈴木京子　斉藤晶子　鈴木富雄　佐々木達也　佐々木直人　照澤斐子　富樫豊　高美代子　田林利勝　塚本健　竹村徹　立田礼子　富澤世子　棚橋雄吉　田代数江　高野ゆう子　西村久美子　夏目和英　中根千鶴　中村昌子　中尾智　西田香織　新家喜代治　生川治代　長塚栄子　中村元　能登山明美　古川不尽子　古谷壽美子　平林啓介　藤井和子　林美紀子　本間奈美子北條喜代子　土方純子　樋口蓉子　平野充　花岡清　星和代　星野真理　村山弘子　水村幸恵　森本典子　松嵜由枝　守川清子　松崎綾子　前田和男　森下ノラ　宮入昌子　牧野順子　吉井洋子　横井里絵子　吉田和弘　横田恵子　山本公一　山崎敦子　山田督章　渡曾亮一　東京都民互助会　若茶園　秋山歯科医院　サンフレンズ後援会

その他にもたくさんのご支援をいただきました。ありがとうございました。

介護保険事業所・高齢者在宅サービスセンター

桃三ふれあいの家

〒 167-0042 杉並区西荻北 2-10-7
TEL：03-5311-3631
FAX：03-5311-3632

目的　桃三ふれあいの家は、NPO法人としての特長を発揮しながら「人間としての尊厳を守り、生きる喜びのあるデイサービス」事業をしています。

活動　●小学校・子供園・保育園・町内会など地域との交流　●たくさんのボランティアさんに支えられた多彩なプログラム　●安全で美味しい手作り給食　●春のお花見散策、秋のおでかけ
ご利用者様、ひとりひとりのニーズに応えられるようにきめ細かいプログラムをご用意しております。

西荻・まちふれあい

かがやき亭

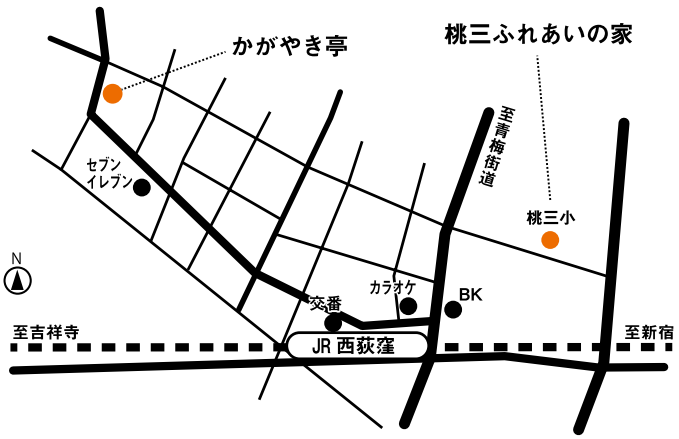
〒 167-0042 杉並区西荻北 4-4-4 三益ビル１Ｆ
TEL：03-5303-5085
FAX：03-5303-5085

目的　●地域や家族から孤立しがちな高齢者や地域の人々が気軽に立ち寄れる場所づくりと生きがい活動　●心身の健康維持のための食事提供　●要介護を予防し、暮らし続けることができる地域の福祉ネットワークづくり

活動　【お楽しみタイム】午後のひととき、趣味や生きがい活動を通じてお友だちづくり
囲碁／月曜日　絵手紙／火曜日　書道／第３水曜日　歌の会／木曜日
手芸／金曜日　健康麻雀／第３土曜日（奇数月）、第２土曜日（偶数月）、第４日曜日
【お食事（昼／夜）】「かがやき亭ｗｉｔｈ佐藤家の食卓」※詳しくは、特集記事（５ページ）をご覧ください。
【スペース利用】ホールでの催し物、地域のグループや団体への貸出し
【その他】シニアサロン、和の会（雑学講座）、「源氏物語を楽しむ会」「ちるどれんかふぇ」「ストレッチフラダンス」「歌声喫茶」「寺子屋食堂」「昔語りの会」「映画会」「ワイン会」他

編集後記

笑うということは、免疫力が上がって口角を上げるだけでも効果的と言われます。ですが桃三ふれあいの家、かがやき亭にいるといつも大笑いすることが多くここにいられることに感謝の毎日です。
（桃三ふれあいの家　看護職員　関口記代子）



発行人　特定非営利活動法人ももの会 大井妙子
〒 167-0042 杉並区西荻北 2-10-7
TEL：03-5311-3631　FAX：03-5311-3632
suginami-momo@r7.dion.ne.jp
http://sugimomo.jimdo.com
編集　NPO 法人ももの会 かがやきながら委員会
（第 62 号担当:関口記代子、鈴木美穂、宮浩子、梅谷則子）
題字　後藤順子さん
制作協力　寺尾祐一